

景観チェックシート
《 b . 里山・田園景観 》

項 目	配慮事項	チェック欄	具体的な配慮ポイント 又は 配慮できなかった理由等
①意匠や形態を自然景観になじませる	○周辺の景観に考慮し、勾配屋根を用いる、高さを抑えるなど、施設の配置や形態、意匠等に配慮する。	<input type="checkbox"/> 配慮した <input type="checkbox"/> 配慮していない <input type="checkbox"/> 該当なし	
	○建物外観には光沢性の高い金属等の大面積での使用は避ける。	<input type="checkbox"/> 配慮した <input type="checkbox"/> 配慮していない <input type="checkbox"/> 該当なし	
	○建物の外観やフェンス等には周辺の自然景観に調和し、時間とともに味わいが出る、自然素材を効果的に使用する。	<input type="checkbox"/> 配慮した <input type="checkbox"/> 配慮していない <input type="checkbox"/> 該当なし	
②自然の色彩に調和させる	○建築物の外壁や屋根など広い面積で使用する色は、周辺の自然色との調和に配慮し、高彩度色の使用は避ける。 ※「用途地域別 色彩誘導ガイドライン」参照	<input type="checkbox"/> 配慮した <input type="checkbox"/> 配慮していない <input type="checkbox"/> 該当なし	
	○使用する色数を少なくする。	<input type="checkbox"/> 配慮した <input type="checkbox"/> 配慮していない <input type="checkbox"/> 該当なし	
③社寺林や屋敷林を保全する	○敷地内に樹姿又は樹勢が優れた樹木がある場合は、保存又は移植を行う。	<input type="checkbox"/> 配慮した <input type="checkbox"/> 配慮していない <input type="checkbox"/> 該当なし	
	○緑化するにあたっては、周辺の樹木と調和した樹種や地域の自然植生を考慮した樹種を選定するなど、地域の特性を活かしたものとする。	<input type="checkbox"/> 配慮した <input type="checkbox"/> 配慮していない <input type="checkbox"/> 該当なし	
④現況の地形を活かした造成とする	○現況の地形を活かし、長大な法面や擁壁が生じないように配慮する。	<input type="checkbox"/> 配慮した <input type="checkbox"/> 配慮していない <input type="checkbox"/> 該当なし	
	○法面が生じる場合も、緩やかな勾配とし、法面の緑化に努める。	<input type="checkbox"/> 配慮した <input type="checkbox"/> 配慮していない <input type="checkbox"/> 該当なし	
⑤緑化等により周辺環境と調和させる	○殺風景になりがちな駐車場や資材等置場、日常の生活環境と区分したい墓地等の敷地周縁部に植栽を施し、周辺環境との調和を図る。	<input type="checkbox"/> 配慮した <input type="checkbox"/> 配慮していない <input type="checkbox"/> 該当なし	
	○やむを得ず擁壁を設ける場合は、擁壁前面の緑化や化粧擁壁など、周辺への圧迫感の軽減を図る。	<input type="checkbox"/> 配慮した <input type="checkbox"/> 配慮していない <input type="checkbox"/> 該当なし	

その他（景観に配慮した事項）